

ログインユーザ：
吉田 茂生

シラバス参照

授業科目の概要

科目名称	基幹教育セミナー
科目ナンバリング・コード	KED-KES1111J
担当教員	吉田 茂生
更新日付	2022/06/03 10:30
授業科目区分	基幹教育セミナー
学部カテゴリ	基幹教育科目
使用言語	日本語(J)
対象学部等	
対象学年	
必修選択	必修
単位数	1
開講年度	2022
開講学期	夏学期
曜日時限	夏学期 金曜日 4時限
教室	
開講地区	伊都地区
授業科目に関する特筆事項	<p>夏学期に対面で実施する予定であるが、社会情勢によっては遠隔授業の可能性があるので、注意しておくこと。また、授業の構成についても、一部が変更になる可能性がある。教員からの連絡などに十分に注意を払っておくこと。</p> <p>Moodle ページは https://moodle.s.kyushu-u.ac.jp/course/view.php?id=44613 です。連絡、資料置き場、課題提出場所などとして使用します。</p>

授業科目の目的・目標・履修条件について

授業科目の目的(日本語)	<p>科学技術が急速に進歩しグローバル化が進展する現代では、一人ひとりが変化や多様性と“しなやかに”付き合い、柔軟に適応していくことが求められます。このことを可能にするのは、私たちの生涯にわたる自律的な成長を支える(学びの基幹)です。すなわち、社会の諸問題や自己について多様な観点からの知識・情報を受けとめて批判的に考察しつつ、自ら問題を発見し、絶えず主体的に学び続ける態度です。本授業は、異なる専門分野を目指す学生及び教員との対話や、それを踏まえた自己省察を通じて、一人ひとりが(学びの基幹)を育むことを目的としています。</p>
授業科目の目的(英語)	<p>The KIKAN Education Seminar is an introduction to learning in a university setting. "What does it mean to study at a university?" "What should I learn here?" "How should I approach learning?" In this course, students think and reflect about fundamental questions like these, share and discuss their thoughts with other students through various group activities, and learn how to express their realizations in a communicative way. One of the highlights of this course is a presentation each student gives in front of around 17 fellow students, on his or her views about learning. By both giving and listening to these presentations, as well as through the other activities in this course, students increase their understanding, self-awareness, sense of involvement, and motivation for university learning, thus building a foundation for learning that is adaptive, continuous, critical, and creative.</p>
キーワード	大学における学び、対話的思考、自己省察

※	学位プログラムの学修目標	授業科目の到達目標(評価の観点)
主	A-1. (主体的な学び)深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。 A-2. (協働)多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。	・大学での学びについて、その特徴を自覚的に認識する。 ・自らがめざす職業や分野について理解を深め、大学での学びを構想できる。 ・他者との交流を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高める。 ・プレゼンテーションなどを通して自らの考えをまとめ、発表を構想できる。
従		

※学修目標と授業科目の結びつきの強さ

カリキュラム・マップ	1KED-KES20基幹教育セミナー学修目標の対応表
ルーブリック	ルーブリック2022_基幹教育セミナー.pdf

授業科目の実施方法について

授業の方法	演習		
教授・学習法	グループ・ディスカッション グループワーク・ペアワーク プレゼンテーション		
遠隔授業	対面授業の形で実施する 遠隔授業の形で実施する		
Moodleコース情報	コース設定あり Moodleトップ画面 (https://moodle.s.kyushu-u.ac.jp/course/index.php)		
使用する教材			
教材の配布方法	Moodle/Book Q		
テキスト			
授業計画	授業計画は予定であり、学びの進捗に合わせて変更することがあります。 1単位あたりの学修時間(45時間)の内訳(目安) (講義・演習の場合)授業内学修15時間、事前・事後学修30時間 (実験、実習および実技の場合)授業内学修30～45時間、事前・事後学修0～15時間		
	授業のテーマ	授業の内容(90分授業=2時間)	事前/事後学修の内容
1	ガイダンス 対話の技法	授業の趣旨の説明 ミラーリングの実施と、その意義を解説するレクチャー	リフレクトシートの提出
2	教員による「私にとっての学び」	教員による「私にとっての学び」の発表と質疑や意見交換 スライドの作り方、プレゼンの行い方の説明	リフレクトシートの提出
3	グループ学習A～大学で学ぶ意義を考える①～	「これまでの学び」を振り返るグループワーク	大学入学までと大学入学後の学びについて整理しておく リフレクトシートの提出
4	グループ学習B～大学で学ぶ意義を考える①～	「これからの学び」を考えるグループワーク	リフレクトシートの提出
5	本番発表Ⅰ	「自分が大学で学ぼう(または取り組もう)と考えていること、ものについて、その内容や楽しさ(やりがい)、大学で学ぶことの意義について発表する	リフレクトシートの提出
6	本番発表Ⅱ		リフレクトシートの提出

7	本番発表Ⅲ		リフレクトシートの提出
8	グループ学習C ～エッセイ完成のためのピ アレビュー	エッセイ草稿のピアレビューを行うグループワーク	

授業科目の成績評価の方法について

定期試験	なし
小テスト	なし
レポート	最終エッセイを執筆して提出する
発表	「これからの学び」について発表する
授業への貢献度	積極的に意見を述べ、また他者の意見を傾聴することが重要である。
作品	特になし
出席	毎回確認をする

授業科目に関する学習相談について

担当教員による学習相談	適宜、相談に応じます。授業前後の時間でも構いませんし、下記に連絡をしてもらえれば、希望する日時で相談できるよう調整しますので、連絡をください。 yoshida.shigeo.305(at)m.kyushu-u.ac.jp (at)を@に変える
合理的配慮について	障害(難病・慢性疾患含む)があり、通常の方法による授業を受けることが困難な場合には、教育目的の本質的な変更など過重な負担を伴わない限り、合理的配慮を受けることができます。合理的配慮とは、教授・学習法の変更、成績評価の方法の変更、授業情報の保障(資料の字幕化、個別の資料配布、録音・撮影の許可)、受講環境の調整などを指します。実際の方法については担当教員と建設的対話を行った上で決定されます。 <相談窓口> キャンパスライフ・健康支援センター インクルージョン支援推進室(伊都地区センター1号館1階) (電話:092-802-5859 E-mail:inclusion@chc.kyushu-u.ac.jp)
修学上の合理的配慮の流れに関する部局HP	https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/campus.life/support.html